



ライスハウアー株式会社

会社説明

ライスハウアーAGは、スイスのヴァリゼレンに本社を置く、世界をリードする歯車研削技術のプロバイダーです。その起源は古く、1788年にスイスのチューリッヒで同族経営の会社として設立されました。当初は手工具を製造していましたが、1930年代から工作機械の製造に移行し、特に1945年に世界初の「創成歯車研削盤」を市場に投入したことで、その後の成功の確固たる礎を築きました。この発明こそが、今日「連続創成歯車研削法（Continuous Gear Grinding）」として知られるプロセスであり、歯車精密加工における世界標準を確立しました。

同社は「技術の標準を自ら定義する」という使命のもと、長年にわたり革新的なソリューションを提供し続けています。製品ラインナップは、自動車産業向けや汎用性の高い各種歯車研削盤（RZシリーズなど）に加えて、機械性能を最大限に引き出すための工具（自社開発の砥石、ダイヤモンドドレッシングツール、クランプ治具）、効率的な生産を支えるオートメーションシステム（Reishauer Ladersysteme）、そして最新のデジタル技術を統合したソリューション（ARGUSモニタリングシステム、クローズドループプロセス、myReishauerアプリケーション プラットフォーム）に至るまで、「オール・イン・ワン」のトータルプロセスシステムとして提供されているのが最大の特徴です。この「Circle of Competence（コンピテンスの輪）」という独自のビジネスモデルにより、工程要素の完璧な協調性を保証し、顧客の監視コストを低減し、生産性を向上させることで、市場における圧倒的な競争力を実現しています。

品質に対するコミットメントも非常に高く、性能システムのすべてのコアコンポーネントはスイス国内の工場自社開発・製造されています。この高い製造内製化率が、同社の製品が誇る卓越した精度、品質、そして安定性の基盤となっています。その結果、ライスハウアーの機械は世界中の硬仕上げされた歯車の多数を研削しており、市場シェアは50%を超えていると言われています。これは、同社の技術が長寿命、高効率、そして特に低騒音のトランスミッション製造を可能にするという、自動車業界やその他の精密機械産業における厳しい要求に応え続けていることの証です。

代表取締役はMarcus Setterberg氏。全世界で201名から500名程度の従業員を擁し、スイス本社を中心に、日本（ライスハウアー株式会社）、ドイツ、アメリカなど世界各地に拠点を展開し、きめ細やかな技術サポートとサービスを現地語で提供しています。長年にわたる揺るぎない品質と革新への追求が、顧客の競争力を高め、成功へと導くという同社の伝統的な約束を支えています。

会社概要

本社所在地

スイス

事業内容

歯車研削技術の世界的なリーディングプロバイダー。長寿命、高効率、低騒音のトランスミッション製造を可能にする歯車研削盤、工具、オートメーションシステム、デジタルソリューション（ARGUSモニタリングシステムなど）の開発、製造、販売。連続創成歯車研削法（Continuous Gear Grinding）の発明者。

代表取締役

Marcus Setterberg (CEO)

設立年

1788年

資本金

非公開

従業員数

101 - 500人

URL

<http://www.reishauer.com/>

オフィス情報

メインオフィス

〒2220033

神奈川県 横浜市港北区 新横浜2-14-30